

ご挨拶

当社のホームページに、ようこそいらっしゃいました。当社を少しでもご理解願える様作成しておりますが、多少なりとも皆様のお役にたっていますでしょうか。さて、ここでは改めて当社の生業（なりわい）についてご説明申し上げます。

1. 長い伝統の下に培われた経歴

学校の歴史の教科書にも出てくる江戸時代の「石川島人足寄場」は当社が本社を持つ中央区月島地区の隣にある佃にあり、時代小説で有名な長谷川平蔵が闊歩していた場所です。当社の母体である月島機械は、司馬遼太郎の「坂の上の雲」に描かれた日露戦争の年に日本の機械産業の一翼を担う信念で創業を始め、既に100年を超えています。明治時代から生き残った周辺の会社は石川島（今のIHI）が有名ですが、今はその跡地が高級マンション街に変貌しています。太平洋戦争当時に米軍が占領政策を見込んで第一生命から聖路加病院に至る地域を爆撃しなかったおかげで、戦前の雰囲気を残した路地裏のある街並みも近代マンション群に並列した形で残っており、当社の周りは江戸の情緒と「もんじゃ焼」のお店で溢れています。その月島機械が上下水道の分野に進出して、運転管理や設備補修を手掛ける目的で当社を設立してから40年余が過ぎました。その間当社が手掛ける事業所は日本全国に90か所程度となり、安心・安全・信頼・継続の上下水道維持管理の為に会社の全力を挙げて日々業務に邁進しています。

2. 地域と時代に立脚した社業の展開

上下水道の普及率が目標をほぼ達成した現在、上下水道の次なる課題は効率的で廉価な上下水道施設をどう運営管理していくのかに移っています。3・11の後にはこれに危機管理の課題も加わりました。各事業体の努力にも拘わらず財政難もあいまって解決の難しい課題ではありますが、当社は経験・実績を積み重ね技術を磨くことで、一歩でも先のランナーであり続けたいと考えています。長い間の事業展開で全国規模の会社になったとはいえ地域毎で事情があり水ひとつとってもそれぞれの環境が違うことを鑑み、東京の下町育ち故に其々の地域に密着した事業展開が出来ると自負しています。ホームページにご紹介しているPFIやDBO等仕組み案件、さらに第三者委託や包括委託等のサービス、そして日本下水道施設維持管理協会や一般社団法人水道運営管理協会等業界団体における団体活動、等々実績と経験も豊富です。今後もこのホームページをご覧になっている皆様から叱咤激励をいただきながら、社員一同、上下水道の発展の為に社業の研鑽に励んでいく所存です。（拝）

月島テクノメンテサービス株式会社

代表取締役社長 服部 博光